

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for	種別 Subject type	
203	基層文化論 <Foundation on Culture >		講義	
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
日本文化学	齋藤 文俊(SAITO, Fumitoshi)	前期	月曜：4限	
講義題目 Title	日本翻訳文化史の研究			
単位 Credit	2			
備考 Others	専修			
履修条件 注意事項 Requirements for registration	日本の古典作品を（部分的に）読んでいくが、できるだけやさしく解説していくつもりなので、留学生の受講、また古文が苦手な人の受講も歓迎する。			
授業の目的 Purpose	<p>漢字・ひらがな・カタカナ・ROMAJIと、四種類もの文字を使用する日本語。それらの文字を利用してどのような文章が書かれてきたのだろうか。それぞれの文字の歴史と特徴およびその文字を効果的に用いた文学作品をいくつか読みながら、日本語の表記および文体の特徴を学んでいく。また、それによって、「国語」という科目を教授していく上での専門的な知識を修得することを目指す。</p> <p>In this course, through reading many Japanese classics of various styles, participants are expected to understand</p> <p>1) To understand the history of translation in Japan. 2) To understand the Kanbun-Kundoku method.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>日本語の文字の歴史は漢字伝来に始まり、その漢字からひらがな、カタカナが誕生し、さらにROMAJIをも使用するようになった。また、漢文を訓読することで生じた漢文訓読体、そして、和文体、さらには和漢混淆文体など様々な文体で書かれた文章が存在する。この講義では、中世までの作品を実際に読みながら、日本語の文字表記および文体の歴史を学ぶ。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回：漢字と日本語 第2回：漢字だけで書かれた作品：『万葉集』を読む 第3回：ひらがな・カタカナの誕生 第4回：漢文訓読語 第5回：初期和文：『古今和歌集』仮名序を読む 第6回：初期和文：『竹取物語』を読む 第7回：初期和文：『伊勢物語』を読む 第8回：初期和文：『土佐日記』を読む 第9回：和文の完成：『蜻蛉日記』（および日記文学）を読む 第10回：和文の完成：『源氏物語』を読む 第11回：和漢混淆文：『今昔物語集』（および説話）を読む 第12回：和漢混淆文：『平家物語』を読む 第13回：ローマ字による日本語表記 第14回：キリシタン資料：『天草版平家物語』を読む 第15回：キリシタン資料：『エソボのファブラス』を読む</p>			
教科書 テキスト Textbooks	プリントを配布する。			
参考書 References	<p>沖森卓也（2011）『日本の漢字1600年の歴史』ペレ出版  山口仲美（2006）『日本語の歴史』岩波新書1018  築島 裕（1963）『平安時代の漢文訓読語につきての研究』東京大学出版会  山口仲美（1984）『平安文学の文体の研究』明治書院  山口仲美（1988）『平安朝の言葉と文体』風間書房  渡辺 実（1981）『平安朝文章史』東京大学出版会（のち、ちくま学芸文庫所収）  その他、講義の中で紹介していく。</p>			

受講生の 自宅学習 Preparation and review	講義では、作品の一部しか扱えないので、興味を持った作品については、各自で読んでみてほしい。
成績評価の 方法と基準 Evaluation	学期末論文（70%）、講義中に行う小テスト（30%）
連絡方法 Contact information	メールなどで連絡があれば随時対応する。